発熱

発熱そのものが危険ではありませんが、

【以下の場合は、夜間でも医療機関へ　】

生後3ヵ月未満の発熱は特別に考える。
（「かぜ」とは違うことが多い）

- □ 3ヵ月未満で38℃以上の発熱
  → 髄膜炎、菌血症、尿路感染症
  など入院加療が必要な場合が多い。
  （1か月未満の発熱は原則入院）
- □ 40℃以上の発熱が数時間続き、ぐったりしている。
- □ 発熱以外に、次のような症状があるとき
  - □ はじめてけいれんした。
  - □ 何回も吐く
  - □ 顔色が悪い（青白い、土気色）
  - □ 意識がはっきりしない（呼びかけてもぼんやり）

【例　外】
ワクチン接種した当日または翌日の発熱で、機嫌も悪くなく、半日くらいで解熱➡救急受診の必要はありません。

横浜市小児科医会　小児救急のかかり方HANDBOOKより引用、一部改変